

令和5年度 第5回豊田市藤岡南地域会議 議事録

開催日時	令和5年8月29日(火)	開会	閉会
		19時00分	20時45分 (諮問20時15分)
会場	藤岡南交流館 多目的ホール		
出席者	委員 13名出席(欠席者:飯伏委員、大森委員、平野委員、森下委員)		
	【諮問】太田市長 企画政策部 辻部長、企画課 野依課長、都市計画課 今村主幹 藤岡支所 山田支所長、佐藤副支所長、林担当長、中村主査、内野書記 山田市議、武田市議、梅村藤岡南交流館長		
次第	1 「豊田市民の誓い」唱和 2 開会 地域会議会長あいさつ 市長あいさつ 3 諮問 第9次豊田市総合計画の方向性について (1) 諮問書の授受 (2) 諮問内容説明 (3) 質疑応答及び意見交換 (4) 市議あいさつ 4 協議 (1) 提言書(案)の確認について 5 報告 (1) 委員からの報告(各団体の活動など) (2) 地域課題解決事業「防災 SAKURA が咲くまちづくり事業」(実施概要) 6 事務連絡 (1) 「第5回地域共生社会推進全国サミット in とよた」について		

■ 議事(要約)

3 諮問

市長からの諮問書を会長が授受した。担当課から諮問内容の説明を受け、質疑応答・意見交換を行った。

【諮問内容】

第9次豊田市総合計画に掲げる本市のまちづくりの方向性「(仮称)ミライ構想の方向性」のめざす姿やまちづくりの基本的な考え方、都市構造について

【主な質疑応答】

委員:「えきちか居住誘導エリア」とはどのようなことか。

市長: 駅周辺が市街化調整区域の場合、高齢化が進んだ時に駅周辺を住宅化できるよう

進めていきたい。

委員：人口増に備え、車の交通渋滞を解消する必要がある。藤岡南地区は名鉄猿投駅に近いので、電車の路線を延長してほしい。

市長：藤岡南地区への名鉄電車の延長の話は難しいが、車の交通渋滞対策として、物理的な課題として西中山町の辻貝戸交差点は動き出している。トヨタ自動車本社が渋滞解消対策として行ったことは、愛知環状鉄道の複線化、社員の駐車場は自宅方面にある場所に割り振りをした。他にも出勤時間をいつもより15分早く出たり、地域内にゾーン30の規制をしたりと渋滞を減らす対策はいろいろ考えられる。あるものを活用し、効果が早く表れる対策を検討してほしい。

委員：藤岡地域内は、幹線道路として国道419号一本しかない。高速、バイパスなど有効に道路を活用したい。

市長：北バイパスの活用方法はある。地域でルールを作り、みんなでルールが守られるようになるとよい。

委員：保護者のみなさんに子育ての不安について聞き取りをした。小学校5年生以上の子どもを抱える保護者は、子どもを預ける場所がないため自分の仕事が継続できるのか、食事の献立を毎日考えることが大変などの意見があった。子どもがいない家庭は、子どもがいない理由もあるが、豊田市を子育てに向いている地域にするため、学童保育の見直し、生活の利便性の向上が必要と考える。

又、豊田市のごみ袋のサイズが50センチでは小さく、既製ゴミ箱のサイズにあわない。65センチに変えてほしい。

市長：まず、ごみ袋のサイズは変更していく。他でも意見として聞いている。

学童保育については、子どもの数に対して定員枠が不足していることに問題がある。担当課に話をしておく。学童保育を自治区の集会所で開設しているところもある。地域内に高齢者も集い、子どもを地域で育てるという環境ができるとよい。ただし、保護者が子どもを預けっぱなしにならないように注意することもしなければならない。豊田市において学童保育の拡大は必要と考えている。

委員：子どもがいない家庭に子どもが欲しいという気持ちを持たせようとするには、どんな方法があると思うか。

市長：例えば、そのような方が、山へ住み、そこに住むと夢が持てるという雰囲気を持つことで、子どもが欲しいと思うことにつながるのでは。子ども会が解散されたと話に聞く。自治区で見守りが行われ、地域に子どもの居場所ができるとよい。

4 協 議

(1) 提言書(案)の確認について

会長から、提言2の文言修正の提案があり、委員の合意を得た。

5 報 告

(1) 委員からの報告(各団体の活動など)

委員より、藤岡南地区コミュニティ会議「福祉講演会」について報告があった。

(2) 地域課題解決事業「防災 SAKURA が咲くまちづくり事業」(実施概要)

藤岡南地域課題解決事業「防災 SAKURA が咲くまちづくり事業」について、今年度の取組について説明した。

【今後の開催予定】

第6回地域会議(9月26日(火)午後7時から藤岡南交流館 多目的ホール)